

# I 調査の概要

## 1. 調査の目的

児童、生徒及び幼児の発育状態及び健康状態を明らかにし、学校保健行政上の基礎資料を得ることを目的とする。

## 2. 調査の根拠

統計法（昭和22年法律第18号）及び学校保健統計調査規則（昭和27年文部省令第5号）による。

## 3. 調査の範囲・対象

### (1) 範囲

小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び幼稚園のうち、調査実施校に指定された学校に在籍する満5歳から17歳（平成13年4月1日現在）までの児童、生徒及び幼児の一部を調査の対象とする。

### (2) 対象校

① 発育状態	幼稚園	35園	1,540人	小学校	60校	5,760人
	中学校	40校	4,800人	高等学校（男）	30校	1,350人
				高等学校（女）	30校	1,350人
② 健康状態	幼稚園	35園	70学級	小学校	60校	360学級
	中学校	40校	240学級	高等学校（男）	30校	90学級
				高等学校（女）	30校	90学級

## 4. 調査事項

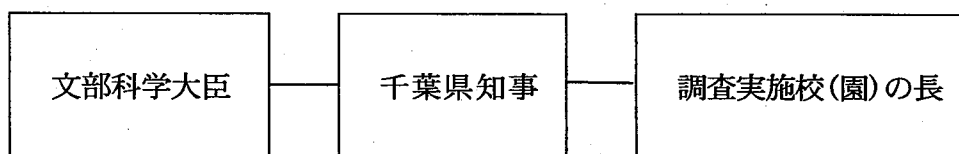
(1) 児童、生徒及び幼児の発育状態（身長、体重及び座高）

(2) 児童、生徒及び幼児の健康状態（栄養状態、脊柱・胸郭の疾病・異常の有無、裸眼視力、色覚、聴力、眼の疾病・異常の有無、耳鼻咽喉頭疾患・皮膚疾患の有無、歯・口腔の疾病・異常の有無、結核の有無、心臓の疾病・異常の有無、尿、寄生虫卵の有無、その他の疾病・異常の有無及びツベルクリン反応検査）

## 5. 調査の時期

調査は、学校保健法による健康診断の結果に基づき、平成13年4月1日から6月30日の間に行う。

## 6. 調査系統



## 7. 利用上の注意

(1) 統計表の符号の用法は、次のとおりである。

「－」―― 該当者がいない場合

「0.00」―― 計数が単位未満の場合

「…」―― 調査対象とならなかった場合

(2) 平均値は、小数第2位を四捨五入した。

また、比率算出については、小数第3位を四捨五入した。

(3) 千葉県の「健康状態調査結果」についてはサンプル数が少ないため、参考値とされたい。

(4) この結果報告書の数値は、後日文部科学大臣が公表する数値をもって確定値となる。